

オオタバコガ情報第1号（ダイズ）

平成27年8月3日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生状況

平成23年以降、ダイズにおいても葉や莢が加害される被害が目立ってきました。

フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数（7月第5半旬まで）は、過去2か年と比べ、安城市ではやや少なく、西尾市ではほぼ同じに推移しています（図1）。

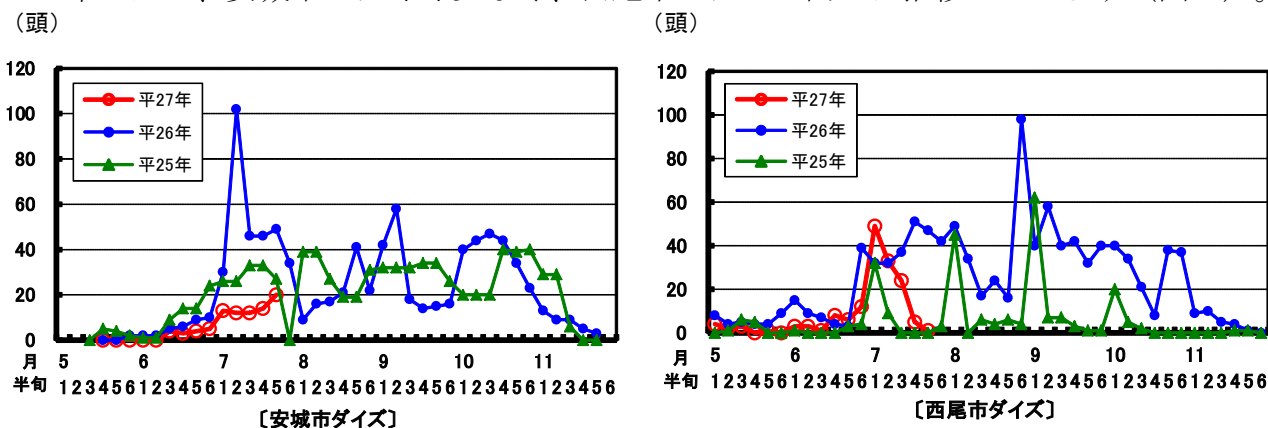


図1 フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺状況

2 今後の予測と対策

現在の発生量が平年並の状況でも、8月中旬以降、発生量が急増する可能性があります。オオタバコガは、ハスモンヨトウによる被害と異なり、葉が加害されても、白変葉とはならないため、ほ場外からの観察では、発生量を推定することが困難です。また、直接莢を加害することから、被害が大きくなりやすい傾向があります。

ほ場での発生動向に注意して、表を参考に、幼虫が小さいうちに防除しましょう。

表 オオタバコガに対する主な防除薬剤

作物名	農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数
ダイズ	アタブロン乳剤	4,000倍	収穫14日前まで	2回以内
豆類 (種実)	チューンアップ顆粒水和剤	2,000~3,000倍	発生初期但し、 収穫前日まで	—
	サブリナフロアブル	500倍	発生初期 収穫前日まで	—



図2 オオタバコガ幼虫と被害葉



図3 オオタバコガによる莢の被害